無人發行 年

(R) か二歳の幼兒が 油をサイダ 心なく飲んで遂に悶死 平素母親の注意が足りない き思

瓶の中に入れてあつた揮發油を平常家にあつて うした悲惨事を惹起するので母親は平素に於け 當も甲斐なく遂に絕命したが平素母親が可愛い 記揮發油もサイダーと思ひ幼な心にごれを約一 サイダーを直接ピンの口から吞んでゐたので前 ニが奥座敷に於て雑談中の隙に辰雄はサイダー る愛見への 合程呑んた爲の忽ち苦悶をはじめ家人の應急手 郷村内町金成源次郎方に墓参旁々赴いたがキク 目午後二時年頃二男辰雄(二つ)を連れ質家の内 平町久保町古田邊義雄妻キクエ(二四)は二十三 **〜でサイダーなごをビン諸共に與へる結果こ** 教養に就ては一層注意すべきである

\$P はやす 喰べら 3

後田舎の場所では三十でも は安いきのこが喰べられる 手放すとあるから今年だけ けは十銭十五六乃至二十前 も昨年よりズット安く初た のこと葡萄の出盛りとな をなして價格

譯である

らでも經濟を考へて喰は

産する

一方幾

も緊縮の現はれ とが原因して結局安値で りはといふ結果らしいそ も賣り澁つて損をするよ ぬ方針の家庭が殖えたこ して本年はきのこ狩りに

初茸の値段もズツト下落 部でを取調べた處預つた路で犯人 仙五十反並に衣類七點が

土臓破り犯人 **一朝上遠野地内で**

2

植田署の非常線に引つかゝる 宮城縣生れの金間億三郎(四)

な家庭經濟にまで及ばし 念との一擧兩得案が微細力を擧げて犯人逮捕につと處同人は矢庭に背負物を投は非常に注目されて居る な關係もあるし食ふ趣味した破滅師に就ては植田署かゝつたので同署員が怪し 出る者の殖えたのはそん。藏を破つて依類反物を窃取。遠野村地内の非常線に差し よりも採る趣味と經濟觀で非常線を張ると同時に全いとにらみ尋問せんとした めたが二十四日午前四時頃が出すや逃走せんとしたの (別項)川部村綱島質店の土|大風呂敷を背負つた男が上

そんなに下落はしないでとが出來ないから値段は 料となるものであるそし 知らないのときのこ狩り 主として生ぶごう酒の原 あらう てゐるので簡單に採るこ てこの方は素人は場所を なごは全無趣味を異にし ば二十五錢 ここれ も出盛りとなれ

加之栗は近年に見ない非常 な豊况で本月下旬は出盛り いはゆる實る秋を物

結果から此の悲慘事 葡萄は未だ品不足のため て來たゝめであらう又山 貫目三十五六錢から上る 語って緊縮經濟にふさはし い安物が喰べられる譯であ

川部村の質屋に 蔵破り専門の賊現る 壁をえぐり銘仙七十反 犯行は極めて巧妙

方の土藏の壁が二尺四方をの犯行は極めて巧みで土蔵 鋭利な刄物でえぐられてあ破り専門とする賊の所為ら るのを家人が發見怪しみ内しく植田署では必死となつ 川部村字三澤質屋網島安治面ちに植田署に届出たが其 窃取さ れてあるので 努めて居る 約二萬圓の見込な爲め財政 不如意の村當局では殆んと

|寶現の曉は社民黨として面||幡神社の祭典の際に三名か 目を施す事となるので成行 手する事となったが之れ て水道敷設の實現運動に着 曾民衆黨磐城支部では近く|に引致取調べた結果同人は ばかりであると云ふので社|が不審なので平署員が本署 手も足も出せず有耶無耶の 開催される村會に意見書を|茨城縣多賀郡松岡町生れ前 かくては雨部落は全滅する前を徘徊してゐる男の舉動 うちに現在に及んて來たが|二十三日午後十一時頃平驛 提出し一方黨出身の 廣瀬村 議を先頭にしひスリの常習者で巢鴨刑務 事は報じたが同人は平町八 ら現金十八圓餘在中の財布 所を出獄したばかりである 科五犯長井榮吉(四三)と云 をすり二十二日夜には平 スリ常習の曲者

ろ

等は五十錢位までである |位となるべく||風呂敷を調べた處中より | 反並に衣類が現れたので有| るのでその手早い事には 嚴重取調べた結果同人は宮る尚餘罪引續き取調べ中 無を言はせず署に引き揚げ に追跡大ぬ鬪の上逮捕前記(四六)と稱し前記犯人と自 城縣伊貝郡高野村生れ當時 で附近を警戒中の署員 た酩仙七十七|仙三反を同地方に販賣しる と共|住所不定無職の金間德三郎 白したが金間は窃取した銘 植田署 員も驚いてゐ 多に本 內鄉村宮飲食店小林長吉方 に於てスリの常習をなして 自白したが同人は東京淺草 舗から鷄卵五十個を窃取更 **ゐたものであると** ケット一個を窃取した事を 署員の 瞬待合室に 若い酌婦にお灸

內鄉村綴、 社民黨か猛然とたつ 老

抱ひ酌

婦井上モン(二五)は

めたので直ちに告發された 署員の袖を引き登樓をする 去る二十二日夜密行中の

12

さんとして數年前より種々あつた尚優勝校は尋常科高 内郷村綴驛前並に藤棚部落 水道に要する費用は全部で るのを幸ひに水道を敷設な|校十五校に達し頗る盛會で ので兩部落民は同村が白水であつたが雨天のため昨二 拘らず飲料水が極度に欠乏|石城教育部會主催の縣下 川に一個の水道取入權があ|十三日平第一校で開催参加 方面は綴驛を中心にして相 ろか年々衰微の傾向にある 當發展すべき場所であるに してゐる關係から發展はお學校兒童第三回ドツチボー 運動を 試みて來たが等科共平第一校が優勝した 成行非常に注目さる ル大會は二十二日舉行の筈 平驛前の 尋高共に優勝 Ž が二十四日科料五圓を言渡

迄岸彼るい寒い暑 がうらあもで分氣春小は中日 たつなく寒ングングは晩朝

0

俗に暑い

較的凉しく二百十日を無土用に入つては却つて比れれな暑さが來て惱ましい中 な天候で土用前に氣まぐ 本年は亂調子 つて暑さ 彼岸とな が去り 岸まで さに いふその 寒いも彼 向ぎ 寒 ٤ 時ころ同 △博徒 四名檢學

人心を何處までめいらせたなり曇つたり降つたりのなりないのはある。 からもう全く氣溫は低下線列車でそれ~~赴任するの知れぬ然し彼岸過ぎ午前八時五十分平驛發磐越たり曇つたり降つたりの中間した警察部へ樂轉したはつきりせぬ天候が續き昇進して警察部へ樂轉したはつきりせぬ天候が續き昇進して警察部へ樂轉したはつきりせぬ天候が續き昇進して警察部へ樂轉したはつきりせぬ天候が續き昇進して警察部へ樂轉した。 からもう全く氣温は低下

近 打 基 微學目下取調中で 中平署員に踏み込まれ一網で 一種する現金かけの賭博開帳 村竹の内吉田幸作

學動不

審者は

峠である

から

では語 分になると小名濱測候所 氣が澄むといふ真の**秋気** 氣が澄むとい Þ つてゐた

一於てパス

袖を 高四の四

四倉繭市場に於ける世三日四倉繭市場に於ける世三日四倉繭市場に於ける世三日四倉繭市場に於ける世三日の取引狀況及び取引賞數は一、九〇〇町別 家出青年に説諭

45

昨二十三 仲日で二十四日嚴重說諭の上 一をせんとしてゐたのを平署を買ひ求め東京方面に逃走と時ち出し平町に來て洋服 に引き渡した 員が擧動不審として取押へ 忠雄(二〇)は二十三日午後 石 城郡磐崎村大字藤原遠藤 親

(三二)同峯根小野寺藤太郎老(三二)同峯根小野寺藤太郎 a に於て去る二十二日午後九年 炭礦職工齋藤惣七(四五)方の 内郷村大字宮字平太郎磐城

する一方で天候も定まり 中はゆる やか暖

の誤植につき訂正してに大衆黨とあるは日湯本平間の軌道徹

仲秋の空となり日

れたい

のポ

カー なさ

1

四丁目米米穀商木村安雄店

とか顔に斯うした徴候の表 ケ月の滿月近くになつて手

た場合には直ちに醫師の

菠

六〇杏

手當てをうける必要があり

でありますから姓しん七ケ

とも非常に大切なことで肉 体上は勿論精神的にも頗る

 \boxtimes

看護婦派出の需めに應ず

平字南町 電話三〇七番

て身体を清潔にしておくこ

45

護

會

長

淸

丰

3

に密接な關係のもつもの

尚姓しんと尿とは非

それ

から

毎日入浴をし

秋口は兎角氣温の變化が其 注意が大切であります。

且つ姙しんの初期に起るつ

|子供の位置の變動が來さね|はい芽米の混食更に一層効

とも限りませんから充分の

(日曜水)

て腰の上部を冷さぬやう

なるべく厚目のものを覆ふ

しいのですから寢る際に

次月が重なつてきますと足

しなければなりません。漸

山の洗濯等は禁物であり

實物御一覽の上御用命下さ

散步も必要ですが一度に澤 ます。尚毎日適度の仕事や はりも輕くすることができ

りますが若し姙しん九、十に輕い浮腫が生ずるのがあ

西洋御料理

なりません。

轉んだとか高

を呈するものですからそれ しん中は往々脚氣様の症狀

を未前に防がんがためには

い所に手を伸ばしたとかで

大役を無事に果さなければ

|ら物事に注意深くしてその|に注意を要すべきことは姙

姓しんの徴候がありました

れるおそれがあります。特

毒素が發生しそれか吸收さ

をしてはなりません。

|妊娠は病氣ではないといひ||ければなりません長い便泌

ますが決して輕はつみなこ

になりますと腸から一種の

d 産の率が最も多い 16 腹帶のは一日何回も

結果満月までたい見を保つ 水浴とか旅行その他運動の は主として暑中における海 初秋は概して出産率の多い|ます。腹帯の卷方も從來は ことが出來す遂早産になる ↑あるのです|位せめても隔日に一回位な 締めなほす事が大切 一日何回でも締め直すこと ずの緩急よろしきを得且つ 固くしめた傾きがあります 一国敷回若しくは毎日一回 が大切であります。便通は がなるべく强からず弱から

入院随應

曲 五

電話七五番

常磐線平町四丁目 花信

自動屬 轉串

特に勉强致します 電話五五〇番

果のあるのははい芽米を常

食どすれば完全に

防止され

特 ケヌ

福島縣發賣元代理店 利人升屋源路上

電話四〇五番

汁腕類は大形三十五錢より御座います E た

ひらま家 鹽屋最上醬油釀造元 一等賞受領品源 同優等賞受領

東京上野車坂四三年町土橋電話一〇番二七番 合然會 より た

價

2

II

0

御

用

11

8

圓錢

・管様是非お試し下さいませ 温天工 一名あんまいらず) 壹 五 拾

式は心際最高

一 りの妙楽であります連續使用しまして此外用温泉エキスは今迄且つて世の中に無かつた る副作用がありませんのと効力が確實な事とは他 萬病に靈効ある別府鑛水 **欒品の比ではありませ** 定價一 圓

特約店 平町五丁目

養蠶用寒暖計 樂別師 農藝消毒藥各種 山野邊東次郎

内臟外科專門

電話この

ħ

HT

平町六丁目(橋際)

評會

中學外

套

邳

5

0

Ħ,

店

電話下谷五七一二番

●各學校制定ボダン でやかなも服冬非是 獎おで持を信自とらなしコ 分申に共縫裁地生る來出め すで服倉小黑いな (付ンボヅ長)用生學小 ٠١ 錢十八圓一 用歲八七 號一 錢○○圓二 用歲九八 號二

も十月中旬 十五 より 賣出 一錢高 錢○二圓二 用歲十九 號三 錢十四圓二 用歲三二 號四 錢○六圓二 用歲三三 號五 し 用生學中 錢十二圓四 生年二一 號六 錢十四圓四 生年三二 號七 發十六圓四 生年四三 號八 錢十八圓四 生年五四 號九

用易諸安 營業 でなった。 トノ ス御 ル用 弊店ヲ 精: 々迅 御速 利簡

大工 物公復勸 債興業 般其債債 取他券券 金兩 金兩融替

四丁目 二圓 三圓 五圓 語樂四店

製造所 平町 新三丁 前目 電話五三九 番番

₽ F

ナ

重症デ

干

X

直グキタ

慢性淋病藥